

平成27年度自衛隊観艦式に参加して

1. はじめに

10月18日、当工業会釜会長は防衛省の招待を受け、平成27年度自衛隊観艦式に参加した。艦艇の観閲というセレモニーに航空宇宙工業会として参加するという稀な機会を得たことに加え、本催しが多数の防衛用航空機による実飛行展示の場という性格もあったことから、その概要を本誌でご紹介しておくこととしたい。

2. 観艦式の歴史

資料によれば、観艦式は我が国では明治元年天皇陛下をお迎えし大阪・天保山沖で実施された観兵式がはじまりだとされている。戦後は昭和32年に自衛隊記念行事の一環として第1回の観艦式が実施され、以降観艦式は今回で第28回目を数える海上自衛隊の一大イベントとなり、今年には42隻の艦艇と37機の航空機が参加した。平成以降は概ね3年に一度の

開催であり、その意味においても今回の観艦式参加は貴重な機会であったと考えられる。

3. 平成27年度観艦式概要

釜会長を含め4名の乗艦する訓練支援艦「てんりゅう」(09ATS:09は建造年度、ATSは艦種記号、以下同じ)は午前9時に横須賀港を出港した。今回、「てんりゅう」は総理が乗艦される観閲艦「くらま」(51DD)の随伴艦との位置付けであり、「むらさめ」(03DD)を先頭に7隻で構成される観閲部隊のうちの一隻である。ここで「てんりゅう」について補足すると、同艦は艦艇の訓練射撃及び対空ミサイル訓練射撃で使用する標的機を海上で発射、飛行管制、揚収する等の目的で平成9年に建造開始され、平成12年3月に就役した艦艇であり、全長106m、基準排水量2,450tの、護衛艦などに比べると比較的小型の艦艇である。当艦を含めた部隊は浦賀水道を抜け、観



「てんりゅう」艦上にて
(左から畑中IHI顧問、釜会長、山北常務理事、阿久津IHI理事)

観が行われる相模湾に向かったが、小型漁船等で混雑する東京湾を慎重に操艦する様子に、艦橋でその模様を見学する一同にも張りつめた空気が感じられた。

恵まれた天候の中相模湾に到着し、観閲は正午に開始された。西向きに一列で航走する7隻の観閲部隊及び「こんごう」(63DDG)、「きりしま」(02DDG)のイージス艦などで構成される6隻の観閲附属部隊の間を23隻の受閲艦艇部隊が「あたご」(14DDG)を先頭に東向きに一列で航走する。受閲部隊は汎用護衛

艦、イージス艦、最新のヘリ搭載護衛艦、潜水艦、掃海艦、補給艦、ミサイル艇など、海上自衛隊のほぼ全ての艦種で構成されており、そのあとには豪、仏、印、韓、米の艦艇による祝賀航行部隊が続いた。観閲随伴艦に乗船する私どもから数百m横の航路を逆向きに航走するこれらの部隊の規律と偉容に、各乗艦者も居住まいを正したい気持であったと思われる。

艦艇の後には航空部隊による受閲が続いた。海上自衛隊のP-3C、P-1、MH-53E、MCH-



展示を見学する釜会長



P-1飛行展示

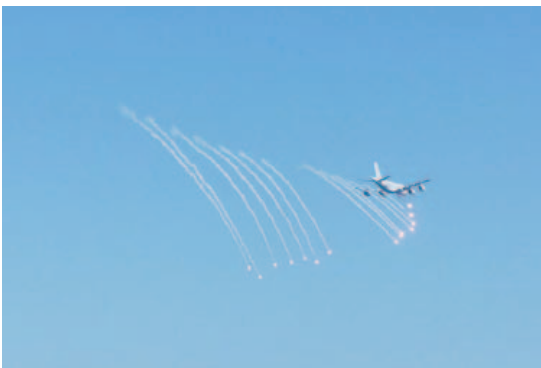
101、SH-60J/K、TC-90等に加え、陸上自衛隊のAH-1D、CH-47、航空自衛隊のF-2、F-15J、C-130R及び米P-8A、MV-22も参加し、低空飛行でその存在感を示した。我が国のこれら一群の防衛用航空機の製造・修理等にはもちろん当工業会会員各社も深く携わっており、その責任をあらためて再確認した。

開始後約数十分で観閲を終了ののち、観閲部隊は針路を反転させ、同じく針路を反転させた受閲部隊による訓練展示を受けた。護衛艦5インチ祝砲発射、艦隊戦術運動、潜水艦の潜航・浮上運動、LCAC（エアクッション艇）高速航走、高速ミサイル艇IR（InfraRed）デコイ発射と、日常ではまず経験の難しい展示が続く。引き続き60mの超低空で飛行するP-3Cから対潜爆弾が投下されると、水中爆発圧力波が船底をたたき衝撃に一同から驚きの声があがった。またミサイルで射撃された場合を想定し、最新鋭対潜哨戒機P-1が高度約150mでIRフレアを放出する訓練も展示され

た。展示の締めくくりは航空自衛隊ブルーインパルスによるアクロバット飛行である。6機のスモークで上空に桜の花を描く曲技には、自衛隊の規律と練度の高さがうかがわれた。

4. おわりに

約1時間半の一連の展示を終え、総理による訓示ののち、一同は帰途についた。観艦式は自衛隊の最高指揮官による査閲というのが本来の主旨であるものの、自衛隊への国民の理解を深めたいという目的のため関係者による並々ならぬご努力の結果実現しているものとも言える。夕方帰港するまでの数時間、艦上で音楽隊による演奏なども行われ、乗艦者を飽きさせぬようにとの配慮にも感銘を受けた。当工業会では、このように精強な防衛の一端を担っていることの責任を再自覚するとともに、今回、このような機会を与えて下さった方々に深くお礼を申し上げて本稿を締めくくるとしたい。



P-1 IRフレア放出訓練



ブルーインパルスによる飛行展示

〔(一社)日本航空宇宙工業会 常務理事 山北 和之〕